

平成29年度 第1回苫小牧市民文化芸術審議会 会議概要

日 時：平成30年3月26日（月）13：30～14：33

会 場：苫小牧市役所第2庁舎 1階会議室

出席委員：千葉会長、松原副会長、安藤委員、坂井委員、椎原委員、中川委員、
則定委員、宮脇委員 計8名

欠席委員：伊藤委員、内村委員

事務局：生涯学習課 鍛冶課長、田中主査、斉藤主査

1 開会 （進行）鍛冶課長

2 千葉会長挨拶

3 議事 （進行）千葉会長

（1）平成29年度苫小牧市民文化芸術振興助成事業の報告について

- ・平成29年度助成事業の28事業のうち、主に助成金が減額となった5事業、中止・取り消しとなった4事業について事務局より報告(斉藤主査)

<質疑>

委 員：助成事業そのものの中止と実際に行っているが減額になっている事業がありますが、実際に事業を行っていないのは1件ということでしょうか。

事務局：そうです。

委 員：他の3件については、助成の条件に合わなかったけど事業は行っているということでしょうか。

事務局：そのとおりです。

※平成29年度事業については、事務局の報告のとおり承認を得る。

（2）平成30年度苫小牧市民文化芸術振興事業の申請について

- ・平成30年度助成事業の申請24件について、事務局より説明(斉藤主査)

<質疑>

会 長：今回は24件、一つ一つ見ると新規事業も10件ありますので事業のPRも行き届いて、この助成制度を使いながら活動を行っていききたい

ということで、良いものになっていると思います。

委員：9ページにある池坊苫小牧支部ですが、以前にも確か、九州から講師を呼んでということがあったかと思いますが、そのときの結果はどうでしたか。

事務局：平成26年度の申請において、同団体より申請がございましたが、そのときは審議会でも否決となり助成対象外となっております。

ただ、今回は内容を見直させていただいております。

今回は、教室が開催する稽古ごとという要素が強かったように思えます。今回もプロの講師をお呼びしますが、教室の方を指導するものでなく、これはあくまで展示方法によるコーディネート料と子どもを対象に行う体験教室の指導料となっており、市民の方に見ていただく、体験するものとなっております。

委員：今回、講師の方は大阪の方からいらっしゃるということですが、そこまでする必要があるのかどうか。

事務局：先ほども申し上げたとおり、これはあくまで演出方法や市民の方に向けた経費となっております。

委員：今回、ここに100点を展示すると書いてありますが、それだけの先生とお弟子さんもいるのに、10万円もかけて呼ぶ必要があるのかどうかと思ったんですよね。

事務局：申しあげましたとおり、講師の方は子ども体験教室だけではなく、展示によるコーディネートについて関わっていくとお聞きしておりますので、そういった部分でいくと妥当な経費と判断しております。

委員：運搬費について、100点を展示するというので、それぞれ自家用車などで運搬が可能と考えますが、いかがですか。

また、先ほども申しあげましたが、団体内でも良い講師がいるので、大阪の方からわざわざ講師を呼ぶ必要はないと考えますが、いかがでしょうか。

事務局：確かに団体内にも先生はいらっしゃるのですが、今回お呼びする講師の手伝いなどを行うことがあります。この経費はより良い事業とするためのものと判断しております。また、運搬費については、確かに小物などについては経費として計算しないということはあると思います。今回、花器で大・中・小と書かれていますが、その中で持ち出しにくいものについては、業者に委託して運搬してもらうということになっております。ただ、ここに計上している6万円というのは最大のものとなっております。今後展示方法などを団体内で詰めていくなかで、ご自身が運ぶもの、業者に委託するものが出てきます。ですので、こ

の額が決算となることはないと考えております。

委員：前年の申請が28件で、今回は24件ということで4件減っていますが、前年申請していただいていた、今回申請しなかったという団体もあると思いますが、こういった理由で申請しなかったのでしょうか。

事務局：主に入場料を取って企画しているもので、収支が黒字となり必要がなくなったなどの理由で、自立により受ける必要がなくなったということです。

委員：そういった理由であれば良いですが、良い事業であったなら継続して活用していただけると良いのかと思いますが。

事務局：活用についてのPRについては、前年度、前々年度に活用していただいた団体が申請されなかった場合は、直接PRさせていただいております。

委員：何件か著作権料として計上している団体があったかと思いますが、これはすべてに掛かるのでしょうか。

事務局：著作権については、掛かるものと掛からないものがあります。

会長：それでは、池坊については、内容も変更となっているので、今回はそのようにやっていただくということでよろしいですね。助成金は、毎年できなくて、周年事業ということで活用するところもありますから、ただ、今回新規が10件あるということは、非常に良い事業であると思います。今年は予算も増額して、まだ若干残っているということですので、事業のPRする機会ができると思いますので、全体としては良い方向に進んでいると思います。また、次年度は自前のできるよってということになれば、より良いものとなりますし、この事業は全道で見てもあまりない取り組みですので、苫小牧として素晴らしい事業だと思います。それでは、他にご意見等がなければ、平成30年度の助成事業の申請については、了承していただけるということでしょうか。

※平成30年度の助成事業について、原案どおり助成希望額を内定とすることで了承を得る。

(3) その他について

事務局：委員の皆様におかれましては、平成30年6月10日をもって任期が満了となります。この間、皆様におかれましては、貴重なご意見、ご指導をいただき感謝申し上げます。今後におきましては、各団体からの推薦お呼び公募という形でお願いすることもあります。今後にお

いても文化芸術振興に取り組んでまいりますので、皆様も御協力いただきますようお願いいたします。

4 閉会 14時33分